

# 大久保 武(教授)

Ohkubo Takeshi

動物細胞工学研究室

Lab. of Animal Cell Engineering

連絡先

農学部研究棟 620号室

URL: <http://animalcell.agr.ibaraki.ac.jp/>



研究内容キーワード: 家禽生産、成長、生殖、ホルモン

## 研究の概要

### ニワトリの抱卵行動制御に関する研究

鳥類は、一般的に種を保存するために、卵を温めてヒナを孵化させます。採卵用に改良されたニワトリでは、遺伝的な選抜によりこの抱卵行動が除去され、産卵能力が非常に高くなっています。一方、肉用鶏(ブロイラー)や地鶏では、抱卵による生産性の低下が懸念され、抱卵行動の除去が期待されていますが、抱卵行動を制御する遺伝子の特定には至っていません。本研究では、ニワトリの抱卵行動の発生メカニズムとその制御遺伝子の特定を進め、産卵性能の向上など、家禽産業への応用を目指しています。

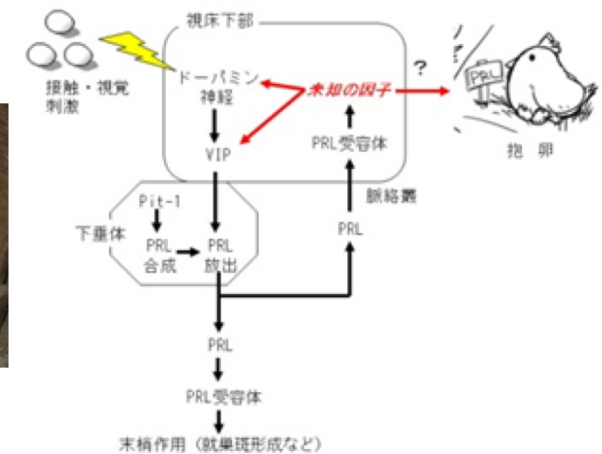


図 抱卵する烏骨鶏(左)と抱卵制御の概略(右)

### 食欲調節ホルモンによる成長・生殖の制御に関する研究

動物は生命維持のエネルギーを外界から摂取します。家畜・家禽では、このエネルギー摂取を人為的に制御することで成長や生殖機能の改善を図っています。そこで本研究ではエネルギー摂取と成長・生殖の関係を明らかにするために、食欲、成長・生殖を支配しているホルモンの相互作用を分子レベルで明らかにすることで、家畜・家禽の生産性の向上を目指します。

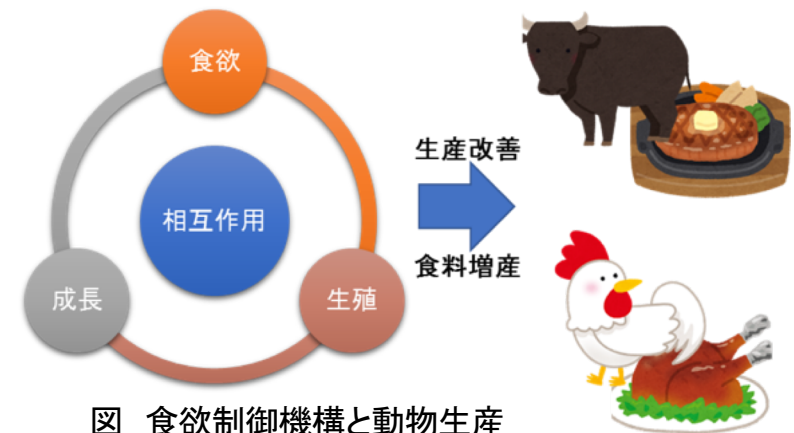


図 食欲制御機構と動物生産

主な所属学会: 日本家禽学会